

10 ツバサコハクカノコ

(コハクカノコ科)

兵庫県ランク:A

Neritilia mimotoi

環境省ランク:VU

種の概要

鹿児島県、宮崎県、愛媛県、高知県、和歌山県、三重県、兵庫県に分布。地下で海域とつながる汽水環境(アンキアライン)や、河川下流域の汽水域で、地下水の流出する周辺の深く埋もれた石の下面にも生息するが、非常に狭い範囲でのみ確認されている。殻は微小で殻径3mm程度。淡い藁色の殻皮に覆われ半透明。成長すると殻口が翼状に張り出す個体がある。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
	△		○		○		○

県内分布

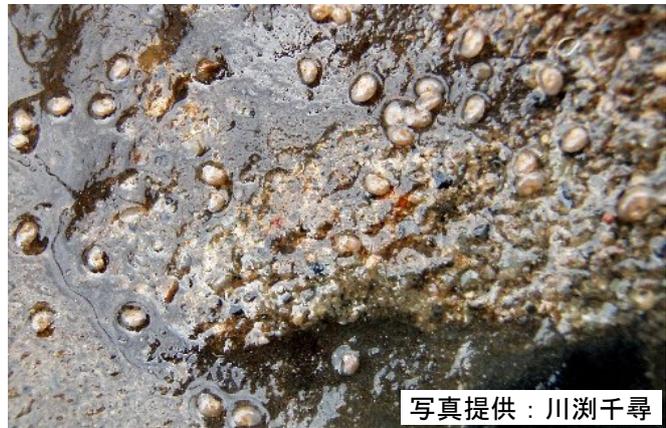
洲本市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。洲本市の極小河川汽水域のごく限られた範囲の半ば砂に埋もれた転石裏面に生息する。発見当時は、1つの転石裏に約50個体見られたが、最近では個体数が激減している。確認されたほとんどの個体は、翼状に殻口が張り出さない。

保護上の留意点

汚染のない細流や河川水が浸透するごく浅い流れがあり、底床に埋もれた大小の岩礫が存在する干潟や海岸の保全。



【執筆者】 川渕千尋